

日本ジオパークに「再認定」決定！



8月に行われた現地審査の様子

9月20日、洞爺湖有珠山ジオパークが「日本ジオパーク」に再認定されました。これから4年間、日本ジオパークとして活動を継続することができま

す。
日本ジオパーク委員会からは、「来年に控えた世界ジオパークの再認定審査に向け、課題解決に努力してほしい」と助言がありました。

優れているところ

- ①旧国道230号の保全・活用方針が示された。
- ②境界や施設にロゴマークが設置された。
- ③野外学習テキストなど充実した資料があり、多くがWebサイトから入手できる。
- ④JICA（国際協力機構）研修員への対応も行い、火山災害に対する減災教育の手本となっている。
- ⑤火山マイスターが中心となり教育・普及活動を請け負うとともに、ボランティアとしても深く関与している。
- ⑥海外からの観光客にもフットパスマップやトレッキングルートが活用されている。観光案内所での多言語案内も充実している。
- ⑦火山と恵み（産品）の関係を伝える絵本やカードなどの工夫がある。

改善が望まれるところ

- ①専門職員を雇用すること。
- ②災害遺構の保全方針をわかりやすくすること。災害遺構を見せるところと、植物の回復を見せたいところを分ける。
- ③国外の地域との国際交流を進める。
- ④縄文遺跡との連携や、アイヌ文化と火山の関連性を整理する。アイヌ民族の文化・風習の記録や紹介を支援してほしい。
- ⑤解説板の一部に、専門用語など一般来訪者が理解しにくい部分がある。訪問者に合わせた内容・難易度の解説に見直してほしい。
- ⑥道の駅には地場産品を求める来訪者が多い。情報発信のためにも道の駅との連携をさらに深めてほしい。

萩ジオパークが日本ジオパークに認定されました



萩（はぎ）ジオパークは、山口県萩市、山口市、阿武（あぶ）町の2市1町で構成されています。

約1億年前（恐竜が繁栄していた頃）・1500万年前（日本海ができた頃）・1万年前、3つの時代それぞれのマグマ活動の痕跡があり、有名な「萩焼（はぎやき）」にも、マグマ活動でできた花崗岩（かこうがん）が風化した耐火性の高い土が使われているなど、火山の物語を楽しめるジオパークです！これで日本ジオパークは44地域になりました。